

工 事 監 査

1 監査の実施期間

令和元年6月6日から令和元年8月16日まで

2 監査の対象

富士市新環境クリーンセンター建設工事(工場棟部分)

3 監査の目的

用途・目的に合致した施設の建設に対するこれまでの入札経過・設計及び施工プロセス・今後の施設管理と運用に関して、その合規性・経済性・効率性・有効性の観点から検討・検証することを目的とする。

4 監査の方針・方法

この監査にあたっては、工事技術に関する専門的知識を必要とするため、(公社)大阪技術振興協会と工事技術調査業務委託契約を締結し、令和元年度に上記の建設工事を抽出して、設計図書及び工事関係書類を審査するとともに、施工状況の現地調査を行うことで、工事の進捗状況を踏まえた監理方法や施工実績について、技術的視点から監査を実施した。

5 監査の結果

実施した対象工事の進捗状況は、令和元年5月末日時点で23.86%(計画23.81%)となっている。

なお、調査を依頼した(公社)大阪技術振興協会から報告された調査結果の概要は次のとおりであるが、改善・指導等を助言された個々の事項については、早期に改善・検討を実施するとともに、各々の工事に対する助言としてとどめることなく今後の工事に活かされたい。